

## 平成28年7月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成28年7月26日(火) 開 会 午後 1時30分  
閉 会 午後 2時10分
2. 会 場 茅野市役所 702会議室
3. 出席委員 教育委員長 吉田 一 同職務代理者 小林 智  
教育委員 小林 俊恵 教育委員 小平 光子  
教育長 牛山 英彦  
出席者 生涯学習部長 木川 亮一 こども部長 牛山 洋治  
学校教育課長 平出 信次 文化財課長 守矢 昌文  
スポーツ健康課長 鋤柄 敏 公民館長 矢島喜久雄  
幼児教育課長 牛山津人志 こども課長 両角 勝元  
生涯学習課長 小島 吉彦  
教育総務係長 渡辺 雄一 生涯学習係長 上原 平二  
こども係長 今井 明彦  
教育総務主事 丸茂 直樹
4. 傍聴者 3名

## 7月定例教育委員会次第

日 時 平成28年7月26日（火）午後1時30分から

場 所 市役所 702会議室

- 1 開 会
- 2 前回会議録の承認
- 3 報告事項
  - 第1号 教育委員長報告
  - 第2号 教育長報告
  - 第3号 各課からの報告
    - (1) 学校教育課
    - (2) こども課
    - (3) 幼児教育課
    - (4) 生涯学習課
    - (5) 公民館
    - (6) 文化財課
    - (7) スポーツ健康課
  - 第4号 教育委員会共催後援
    - (1) 生涯学習課
    - (2) スポーツ健康課
- 4 議案
  - (1) 茅野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 5 検討事項  
今回はありません。
- 6 その他
  - (1) 中学生台湾交流事業について

次回定例教育委員会日程について

8月24日（水）午後1時30分「705会議室」

（事務局会議 8月10日（水）午前9時00分「701会議室」）

- 7 閉会

吉田委員長

只今から、7月定例教育委員会を開催します。

前月の6月の会議録の確認をします。何かありますか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

本件は承認されました。なお、会議録の署名は委員会終了後にお願いします。

それでは報告事項第1号、教育委員長報告についてお願いします。

15日の茅野高校地域とあゆみ発展させる会に参加させていただきました。茅野高校の生徒さんたちは毎年違った形で発表の拝見させていただいておりますが、だんだんしっかりしてきたという印象を受けました。私は茅野高校で7年間教員としてお世話になりましたが、その当時、茅野市の市民が茅野高に向けた見方が現在では違ってきているかと思います。地域の学校として見守っていかうという意識がだんだん強くなりつつあり、そういった環境の中で子どもたちがしっかり伸びていくということを感じました。校長先生からのお話の中で豊かな学び合いという茅野市と共通の考え方をもち、子どもたちの学びを作っていくための研修も行っているということを知りました。0歳から18歳までという教育の流れを中学で途切れることなく高校でも繋がっているということはとてもありがたいことだと思っております。ぜひそういった繋がりを大事にしながらやっていきたいと思えます。

20日に総合教育会議が行われました。この会議では茅野市の小中一貫教育が本格的に動き出すということが話されました。22日のPTA主催の教育懇談会では、まだ保護者の方の小中一貫教育への意識はまだ高いとは言えない段階だったかなと思います。保護者の中でしっかりと小中一貫教育について意識を持ってもらって、良い形で進められるようになっていただきたいです。

また何校か主幹指導主事の訪問がありましたので、他の委員の方から感想等をお願いします。

小林（智）委員

永明小学校の方へ参加させていただきました。こども達の姿は、授業参観等で見させていただいた様子とは大きく違っておりませんでした。施設の面では大分古くなってきているという事を感じました。

吉田委員長

報告については以上になります。

次に報告第2号教育長報告を教育長からお願いします。

#### 教育長

4日に信濃教育会後藤会長という方が、茅野市役所へ来庁しました。用件は、信州教育の日を毎年11月の第3週土曜日に行っており、茅野市を会場にして平成29年に行いたいという依頼に参られたということでした。お話を聞く中で、負担はなくはないが、会場ということで引き受けることによって、茅野市の教育にプラスであると判断しましたので、現状では、引き受けることにしました。

15日に県都市教育長協議会へ出席しました。そこで議論されたことは、この会議では、県教委への要望、市教委の意見の2点について話し合いが行われました。その中で県教委ではアクティブラーニングをどのように考えているか、意見を聞きたいという質問がありました。県教委では、アクティブラーニングという考え方は、活動あって子ども達に学びなしという教育活動ではいけないという、そういう意味でアクティブラーニングを導入するため理解してやってほしいということを言っておりました。また授業の主体はこどもであるという事、授業においてこどもたちは、対話活動をやってもらい、最終的には深い学びになるような授業をやってもらいたい、ということをおっしゃっておりました。アクティブラーニングの考え方で授業を実施できなければ、教師間の格差が出てしまうことが心配ということも言っておりました。私たちも茅野市で豊かな学び合い活動を行っています、その授業を見ているとやはり、教師間の差は出てしまうと思います。塩尻市ではアクティブラーニングを結構進めているらしく、やはり教師の一人一人のこどもを見取る力がなければ、実現できないのではないかと思います。その授業で扱う教材を見取る力これが高くないとダメではないか、とおっしゃっておりました。私も同じ考えであり、かなり研修を積まなければいけないと感じました。

小学校5、6年生で、英語活動から年間70時間の英語教育を行うことになり、3、4年生が現在行っている英語活動を行うという事になります。佐久市はそれについての準備について教えて欲しいという質問をしました。県教委は今までの英語活動は聞くことと、話すことの2点に重きが置かれていたけれど、これからは読むこと書くことへ力を入れて欲しいということでした。英語力の調査が本格実施される前に行われるので準備をしてくださいという話もありました。また英語に関する研修等は県でも行うが、市の方でも行ってほしい、ということも言っておりました。

各教育委員会で話し合い等が行われまして、小中一貫教育について他の市の状況等について聞かせていただきました。その中で幼保小連携と幼保小連携教育という言葉に違いがあるということを他の市はあまり意識していないということを感じました。多くの自治体は幼保小連携、幼稚園、保育園、小学校で英語活動等を通して交流を行っていれば、幼保小連携教育を行っているというような感覚に陥っているのではないかという感想を持ちました。幼保小連携教育という考え方が広まらなければ、文科省で目指している幼保小連携

教育にはならないと感じました。やはり幼稚園保育園の遊び＝学びという意識で取り掛からなければ幼保小連携教育にはならないと思いました。

英語及び道德の教科化について話がありました。私は道德の教科化についても茅野市でももっと深く取り組んでいかなければならないと感じました。教科化になるということは、5教科と同じように通知表に点数をつけるという事になります。英語も同様です。特に、道德については、教科書が国から出ていましたが、英語についても教科書が作られます。教科書が作られるという事は点数をつけなければいけないので、もっと道德、英語の教科化について深く考えなければいけないと思います。また他の市の話を聞いている中で英語の授業そのもので英語力を高めるという意識の方が多いと感じました。茅野市では、ご承知の通り、台湾姉妹校を通しての英語交流、ロングモントの中学生、高校生のホームステイなどの直接交流を行っていますが、これが英語の授業以上に大事ではないかと思います。具体的な例を言いますと、昨日ロングモントから来た、生徒が小学校へ行きましたが、そこでの英語の交流の様子が新聞の記事になっておりました。その中でロングモントの生徒の方が茅野市の児童は「元気で開放的」という感想を持ち、こちらの11歳の児童は「とても優しいお姉さんお兄さん達だった、英語で話せたらもっと楽しいので勉強したい」という感想でした。勉強をしたいという意識になっているということにとっても感心しました。玉川小学校へ行ったロングモントの生徒は、「学校全体で歓迎してくれて、いろいろな話を話してくれたり、体験させてくれた、また5年生のクラスでは、英語で交流してくれた、こんなに英語で接してくれたクラスは初めてだ」と感想を言ってくれました。

また子ども達のふるさと学習等をどのように進めているかという質問がありました。多くの自治体が故郷学習をやった方がいいと考えているが、どういったことをやるのが自分たちの自治体として適しているかということを見出すことが難しいという話でした。私達の縄文科学習は自分たちの生き方学習でもあり、他の市と比べ少し進んだ学習になっているのではないかと思います。

特別支援学校に通学する児童の居住地移行への副学籍制度についてということで意見交換が行われました。この副学籍制度というのは、諏訪養護学校へ多くの生徒が通っておりますが、その通っている生徒が住んでいる地は茅野市のこういうところだよ、という事を強く意識できるためにやってくれというために副学籍制度をやってもらいたいということをして特別支援学校の特別支援課の担当者もおっしゃっておられました。できるだけ地域の子どもは地域で育てるという事に異論はないという自治体が多くいました。

以上になります。その他については資料の通りです。

吉田委員長

次に報告3号各課から報告をお願いします。

[各課から8月行事予定について報告]

資料（報告3号）

吉田委員長

次に報告事項第4号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課、スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告4号）

吉田委員長

次に議案1「茅野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について」学校教育課から説明をお願いいたします。

学校教育課長

[概要]

茅野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の中の11条中「中学校」の次に「、義務教育学校」を加える。

資料説明（議案1）

吉田委員長

次にその他1「中学校台湾交流事業」教育総務係長から説明をお願いいたします。

教育総務係長

平成28年度の中学校台湾交流事業のスケジュールについて説明させていただきます。スケジュールは昨年度とほぼ同じになりますが、現在各中学校で6名ずつ参加生徒の選考が終わったところになります。明後日になりますが、参加生徒、保護者の方には、7月28日に説明会を行いと思います。9月には教育長、市長をお迎えし、結団式を行います。その後事前学習会を9月8日から10月25日までの間に6回開催する予定になります。台湾訪問の日程につきましては、10月30日から11月2日までの4日間になります。2日目、3日目に学校交流が行われる予定です。今回は昨年と違い学校交流をした初日にはホームステイをするという形になります。12月には報告会が行われます。また1月に台湾高雄市中学校来訪・教育交流が行われますが、それについてはまた今後詳しい内容が決まり次第報告させていただきます。

吉田委員長

何か質問等ございませんか。

こども部長

台湾から生徒が来るときには、こちらではホームステイは行わないということでよろしいでしょうか。1回このような形で行ってしまうと向こうの生徒から、茅野市でもホームステイを行いたいという事も出てくるかと思います。

学校教育課長

現在、向こうの先生とお話をしておりますが、「こちらから行く生徒は24名ですが、台湾から来る生徒は100名という事もあり、茅野市で受け入れをしたときにホームステイは厳しい」という話をしましたが、それでも茅野市の生徒が台湾へ訪問したい際にはホームステイをやってほしい、ということでしたので、今回ホームステイを行うという事になりました。

こども部長

今後、そのような話が出てくる可能性がありますので、確認をさせていただきました。

吉田委員長

向こうの家長の要望が大きいという事です。

学校教育課

1校だけでなく4校の家長の要望が大きいこともあり、本年度はやってみて、今後何か問題があれば、改善していくという形になります。

吉田委員長

各学校の選定状況についてはどのようなでしたか。定員に満たないような学校は多かったのでしょうか。

教育総務係長

昨年度は定員に満たない学校もありましたが、本年度は少なくとも定員ちょうどの学校や12名応募があった学校もありました。

吉田委員長

質問等ございませんか。

次回定例教育委員会ですが、8月24日水曜日午後1時30分から、事前を午後1時00分から開催したいと思います。よろしいですか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

ご異議ないようですので、そのようにいたします。

以上で7月定例会教育委員会を終了します。



茅野市教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

平成28年8月24日

茅野市教育委員会 委員長

同職務者代理

委員

委員

教育長

こども部長